



FIZ Karlsruhe 共催フォーラム

eSciDoc/Fedora: e-Researchのための機関リポジトリの新展開 ーデジタルライブラリーからeScienceへ向けて

2009年**11月11日**(水)

第11回図書館総合展 展示ホール内会場
パシフィコ横浜展示ホール B (横浜みなとみらい)

Library Fair & Forum 2009
Library Fair & Forum
第11回図書館総合展
同時開催: 学術情報オープンサミット2009
会期: 2009年11月10日(火)~12日(木)
会場: パシフィコ横浜 展示ホール(入場無料)

NIMS と Max Planck Digital Library が共同で進める材料研究リポジトリ (研究成果のセルフアーカイブ) システム「NIMS eSciDoc」構築に着手し2年目を迎えました。当初から一貫して目指す①研究者視点で”使いたくなるシステム”、②情報学視点で”合理的で柔軟なシステム”の進展模様を、開発・運用者と利用者の各視点でご紹介します。特に、リポジトリをデジタルアーカイブと捉える e-Science の視点で、研究者の立場から藤森氏 (物理化学)、轟氏 (材料科学) の実体験を通した”どうあったら e-Science となりえるか”には、リポジトリ関係者にご関心いただける内容と思います。

お知らせ

当初の第一講演者 Matthias Razum 氏 (FIZ Karlsruhe) が急病のため、プログラムが以下のように一部変更になりました。



13:30-13:50 谷藤 幹子 (物質・材料研究機構 科学情報室長)

NIMS eSciDoc Update : 研究者 ID マッピングと応用



13:50-14:10 藤森 裕基 (日本大学文理学部 准教授)

研究者による eSciDoc 実践 — 物理化学分野



14:10-14:30 轟 眞市 (物質・材料研究機構 光材料センター主幹研究員)

まだ見ぬ e-Science、主役を舞台に載せるためには？

お申込み



独立行政法人 物質・材料研究機構 科学情報室
E-mail: kagaku@ml.nims.go.jp TEL: 029-859-2494



ブース (No.35) にも
是非お越しください